

## オオスジコガネ

## スジコガネ

夏に針葉樹の葉を食べるコガネムシ，体長20mm前後．緑色や紫色に輝く．色彩は個体変異が大きい．幼虫はC字型の黄っぽいイモムシ．最大長約30mm．土中で生活し針葉樹の根を食べる．両種が混在して発生することがよくある．成虫はオオスジコガネでは翅（はね）につやがあるが，スジコガネでは翅がくすんでいる．

針葉樹人工林や苗畑でときどきに多発する．小さな木は幼虫による根の食害で枯れることがある．



1. オオスジコガネ成虫，1981/8．カラマツ上．



2. スジコガネ成虫，体長18mm．2001/8/1．美唄市．



3. スジコガネ老齢幼虫，体長30mm．



5. トドマツ苗木，5年生．

健全木（左）と被害木（右）．



4. スジコガネ幼虫の尾端下側（3の幼虫）．

3～5．2001/11/27．トドマツ苗畑．

【分布】 北海道，本州，四国，九州.

スジコガネ 【学名】 *Mimela testaceipes* 【分類】 コウチュウ目 (Coleoptera) ， コガネムシ科 (Scarabaeidae)

【分布】 北海道，本州，四国，九州；サハリン，シベリア東部，アムール，中国，朝鮮半島.

【特徴】

幼虫の体は黄色がかった白色から黄色. 尾端下側の中央には，内向きの長い刺毛が2列あり，両列の間隔は尾端に向かい広がる. この刺毛はスジコガネでは各列20本前後，オオスジコガネでは25本前後である.

【生態】

成虫はアカエゾマツ，アカマツ，エゾマツ，カラマツ，クロマツ，スギ，トドマツ，ヒノキなどの各種針葉樹の葉や若枝を食べる. 幼虫はこれら樹木の根を食べる.

年1回発生. 一般に卵から成虫になるまで3年かかる. 成虫の出現期は7～8月. 雌成虫は地下5cmぐらいの所に産卵する. 幼虫で3回越冬し，足かけ4年目の6～7月に土中で蛹になり，その後1ヶ月足らずで成虫になる.

幼虫は春から秋は根の近くにいるが，10月には地中深さ30cm程度までもぐって越冬に入る.

発育ステージ	～3月	4	5	6	7	8	9	10	11～
成虫・卵					..○○	○○..			
幼虫 (+越冬, ■摂食・成長)						..■	■■■■	■■■■	+++
	+++	+++	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	+++
	+++	+++	■■■■	■..					
蛹				..◇◇	◇◇..				

【被害と防除】

1世代に3年かかるので，森林での被害は3年間隔で発生する. 苗畑では苗木を苗床に3年以上置くと被害が大きくなる. 苗畑や新植造林地では幼虫の食害により木が枯れることがある.

森林で適用できるような有効な防除方法は今のところ確立されていない.

苗畑では被害は植え付け後3年目に大きくなる. 被害の出やすい苗畑では2年間隔で床替えするのが望ましいが，現実的には困難なようで何らかの駆除が必要とされる.

水銀灯，青色蛍光灯などを用いて成虫を集めて駆除する方法がある.

苗畑で薬剤による駆除が必要と判断される場合は苗木のコガネムシ用に登録されている殺虫剤を用いる. 薬剤は取扱説明書に従って使用すること.

## 【文献】

1985. 農林水産省林業試験場北海道支場保護部. 北海道樹木病害虫獣図鑑. 223pp. 北方林業会, 札幌. (北海道での生態, カラー写真)
1994. 倉永善太郎. スジコガネ. 小林富士雄, 竹谷昭彦編集, 森林昆虫, 総論・各論: 375-376. 養賢堂, 東京. (形態, 生態, 防除)

北海道立林業試験場・緑化樹センター

オオスジコガネ, スジコガネ kogane/oosujiko/  
kaisetu.htm

「文章」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/8/11.

seichu1.JPG

「写真1」 鈴木重孝, 北海道立林業試験場, 1981.

seichu2.JPG, 1sujiy01.JPG, 1sujiy02.JPG, 1higai.JPG

「写真2～5」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001.